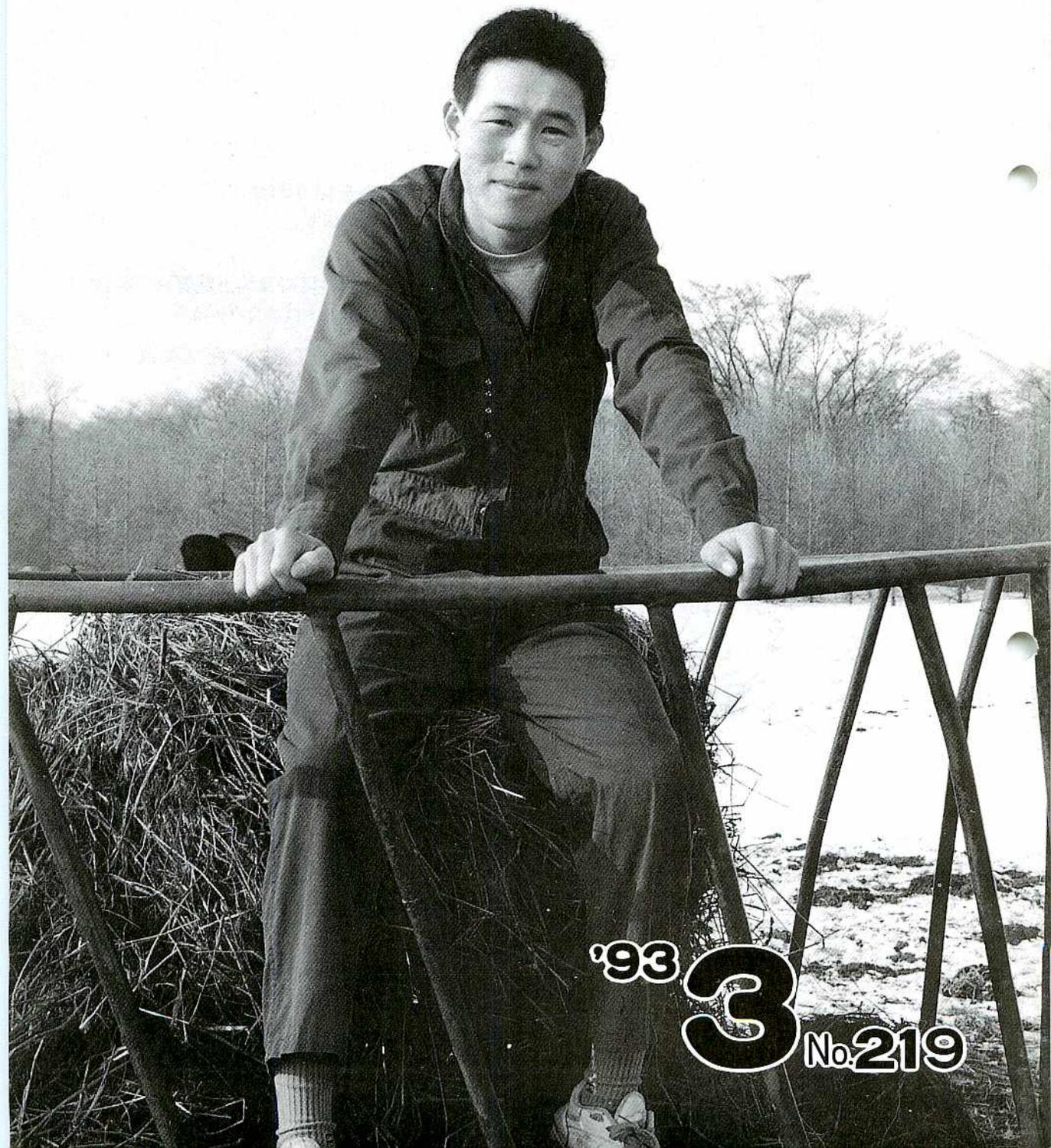


のうきよう まがしづ



'93

3

No.219

のうきよう なかしべつ

日いちにちと春の近づく
足音が聞こえる。
福寿草も花を咲かせようとしている。



もくじ

- 3 ——— 〈シリーズ〉
未来を担う若者 No.10
中本 信幸
- 4 ——— 〈営農技術〉
北根室地区の草地土壌養分の実態
北根室地区農業改良普及所
- 6 ——— 朝市活動で農林水産大臣賞
中標津町野菜生産組合
- 7 ——— 〈わが家の人気者〉
妹がかわいくなって仕方ないの
房川 喜仁君
- 8 ——— いつまでも健康で楽しい毎日を
熟年会冬期研修会
- 9 ——— 同志の絆をより強く
第22回 中標津乳牛改良同志会定期総会
- 10 ——— 大盛況のスノーフェスティバル
第18回 なかしべつ冬まつり
- 11 ——— 趣向を凝らした競技に声援
開陽冬の運動会
- 12 ——— 地域で楽しむ冬まつり
中標津地区冬まつり
- 13 ——— 青年部、婦人部理事者との懇談会
- 15 ——— 理事会の経過
- 16 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
「家族」って？
北根室地区農業改良普及所
- 18~19 — 今月のフォトアルバム

あす 未来を 担う若者

開陽 中本 信幸さん(19歳)



コスト低減に向け頑張る信幸さん

視界三三〇度、地球が丸く見える開陽台は中標津町の名所として名高く、夏場の観光シーズンには、数百とも数千ともいえるミツバチ族や観光客で賑う。中本トモ牧場は、この開陽台から約2kmほど中標津寄りの道々沿いに位置し、経営面積八十haに乳牛約百頭を飼養

をやるんだったら、日本一の酪農家になるんだ」と話した事もあったそうです。高校卒業後は即、家に戻り、実践の中で頑張っている。僕がこうして家に戻り酪農をやるのも、母が今まで頑張ってくれたからなんですよ」と母・トモさんに対する

あせらず一歩いっぽ経営改善

する酪農専業農家です。

ここで母・トモさんと「楽しい酪農作りを」目標に頑張っているのは、信幸さん十九歳。

昭和六十一年、父である栄二さんが病いに倒れ他界。その頃、信幸さんは中学一年生だったという。

四人兄弟の長男(姉二人、第一人)でもあった事から、父の他界を期に、「自分は酪農を継がなくては」と決心したそうだ。

中学を卒業後は、酪農知識習得のため帯広農業高校酪農科に進学。ここでは自主的活動である乳牛分会に加入し、乳検成績の考察を中心に、飼養管理技術などを熱心に勉強した。同級生には「同じ酪農

感謝の気持ちも深い。また、乳検成績で個体平均乳量九kgと、中標津町農協内ではベスト七位に入っている。これも特別な牛の飼養管理をしているわけではないが、父が乳牛改良に力を注いで来た事の答えが、今表われているのだろうと過去を振り返る。

中標津に戻って二年目、これからの酪農経営をどう切り開いて行ったら良いのか、先がなかなか見通せない中では、むずかしいものがあるが、まず今はコスト低減に向け努力している。今年も青年部の生産費調査に取り組み、自分の生産している牛乳の生産原価がどれくらいなのかを把握した。しか

3Kイメージ
からの脱皮を
できる酪農を

し、まだ経営の中味も良くわかっていないので、あせらず一歩い

っぽ改善をして行きたいと話す。また、開陽台の観光ルート上に牧場があるので、農村の景観にも気を配り、農業の3Kイメージから脱皮出来る酪農経営を作って行きたいと、希望に燃える信幸さんです。





北根室地区農業改良普及所

北根室地区の草地 土壌養分の実態

牛肉の自由化に伴い、急速に乳牛の多頭化が進み、最近粗飼料の不足する農家が増えて来ています。低コストの生乳生産を行なう上からも、良質な粗飼料を十分確保することが大切です。

普及所の平成四年の作況によると、採草地の平年10a当りの生取量は三千七百二十五kgとまだまだ低い状況になっており、以前より増して、土壌診断に基づく土改材の施用や、植生タイプと土壌分析に基づき施肥が重要になって来ています。

北根室地区の土壌診断事業から、土壌養分の実態は次のようになっています。

一、北根室地区全体
昭和六十年から平成二年までの

六年間、全戸、全ほ場を二順（一順は三年間）しましたので、一順

表1 北根室地区における土壌分析結果

種類	採草地		放牧地	
	60年~62年	63年~2年	60年~62年	63年~2年
PH	5.87	5.86	5.91	5.91
有効態リン酸mg/100g	38.0	39.1	41.8	43.0
交換性mg/100g	石灰	200	231	248
	苦土	24	33	31
	加里	17	31	27
摘要	3,223点	2,771点	1,691点	1,115点

目と二順目の比較を表1に示しました。

(1)、PH
採草地では改善が見られるが、放牧地では一順と二順で改善が見られない。

図1 採草地

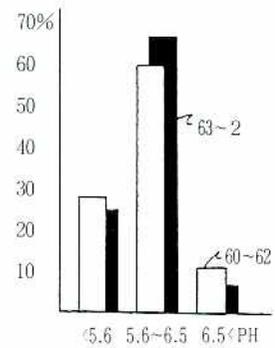
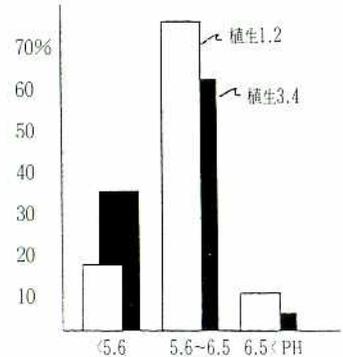


図2 植生区分とPH (63~2)



植生区分で見ると植生一、二タイプよりも、植生三、四タイプの経年化が進んだ草地が酸性化している。

税 知っておきたい 税の知識

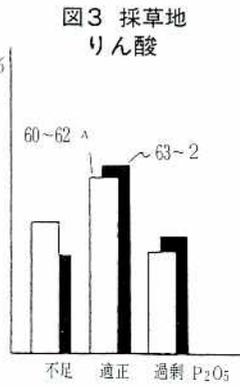
消費税の申告と 納税は正しくお早目めに

平成四年分の消費税の申告と納税の期限は三月三十一日です。平成二年中の課税売上高が三、〇〇万円を超える個人事業者の方は、平成五年三月三十一日までに「消費税確定申告書」を作成して所轄の税務署に提出し、その消費税額を納付していただくことになっていきます。

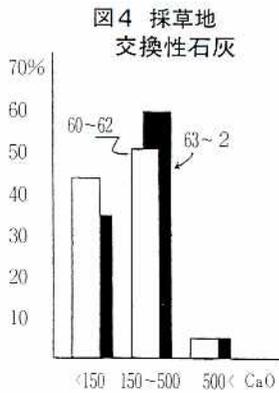
確定申告の必要な方

- 一、平成二年中の課税売上高が三、〇〇万円を超える個人事業者。
 - 二、「消費税課税事業者選択届出書」を提出した個人事業者。申告書は二種類あります。「消費税確定申告書」には簡易課税用と一般用の二種類があります。
- 平成二年中の課税売上高が四

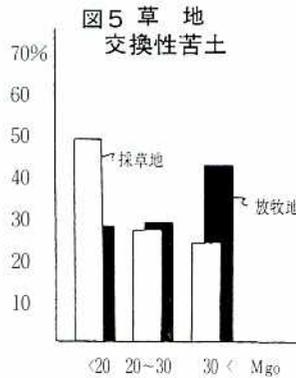
(2)、りん酸
採草地、放牧地とも改善の傾向であり、不足領域の減少が見られる。この傾向は植生タイプ別でも同様な傾向を示した。



(3)、交換性石灰
採草地では改善傾向が見られるが、放牧地ではその傾向はない。植生別ではPHと同様の傾向である。

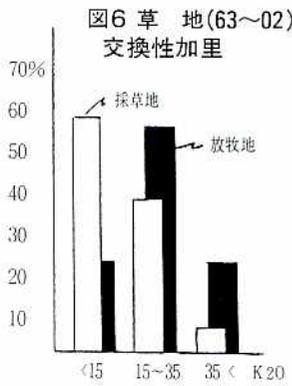


(4)、交換性苦土



採草地、放牧地とも改善傾向は見られず、採草地で五〇%、放牧地で三〇%不足領域に存在している。

(5)、交換性加里
採草地、放牧地とも改善傾向は見られず、採草地五七%、放牧地二二%も不足領域がある。放牧地については過剰領域に二二%存在している。



二、結果のまとめ

① PHは更新時の石灰の適正投

入と、経年草地に対する石灰の表面散布は今後とも実施する。

② 有効態りん酸は改善傾向が見られるが、今後とも改良する。

③ 交換性塩基を見ると石灰では改善傾向があり、苦土は見られなかった。加里については放牧地で過剰が若干目立つ程度であり、全体的には不足を示している。

以上が全体の概要で、改善しなければならぬことは随分残っております。しかし土壌採取、肥料銘柄の選択、散布量の調節、糞尿散布による減肥、ほ場の分類などが面倒臭いということで、最近低調になって来ており、酪農の基本の一つに土づくりがあることを再確認する必要があります。



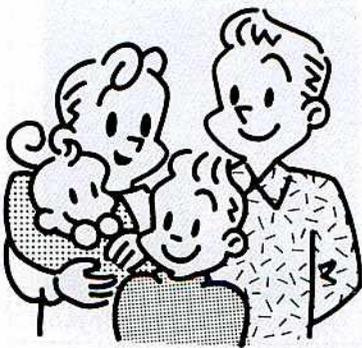
億円以下の課税事業者で、平成三年末までに「消費税簡易課税制度選択届出書」を提出している方は、「消費税確定申告書(簡易課税用)」を、その他の個人事業者の方は、「消費税確定申告書(一般用)」を提出してください。

振替納税制度

消費税の納税の方法に、振替納税の制度があります。

これは銀行などの預貯金口座から自動的に納税を済ませるものであり、この制度を利用すると、わざわざ銀行などに出かけて納めたり、納期限を忘れて滞納してしまいうこともなくなり、大変便利です。

振替納税のご利用をお勧めします。



農林水産大臣賞受賞報告会

朝市活動で大臣賞



中標津町
野菜生産組合

野菜の朝市を通じて町民に親しまれている「中標津町野菜生産組合」(苦米地静子組合長)が、このほど社団法人、農山漁家生活改善研究会の主催する婦人・

受賞された賞状を前に喜びあふれる生産組合のお母さんたち

高齢者グループの生活、生産活動に関する表彰事業で最優秀賞である農林水産大臣賞を受賞。これを記念して二月二十三日、「寿宴」で報告会が開かれました。

大臣賞の表彰式は二月三日、東京の「第二回二十一世紀むらとくらし、婦人、高齢者全国会議」の中で行なわれ、組合を代表して中林幸代前組合長が出席し、賞状ならびに記念品を受賞、活動報告を行なってきました。

報告会では苦米地静子組合長と中林幸代前組合長が、今までの活動や、東京での受賞式の模様を報告、会員の中には忙しかったり、病気がちの人もいるが無理をせず、ほんのちよっぴりだけ儲ける



活動の報告を披露する中林幸代氏
(前組合長)

ことを目標に、一人ひとりの意見を聞き役割を分担。また、現地視察や勉強会など積極的に取り組み事業を進めてきた」と、息長く続けてきた活動を振り返り披露されました。

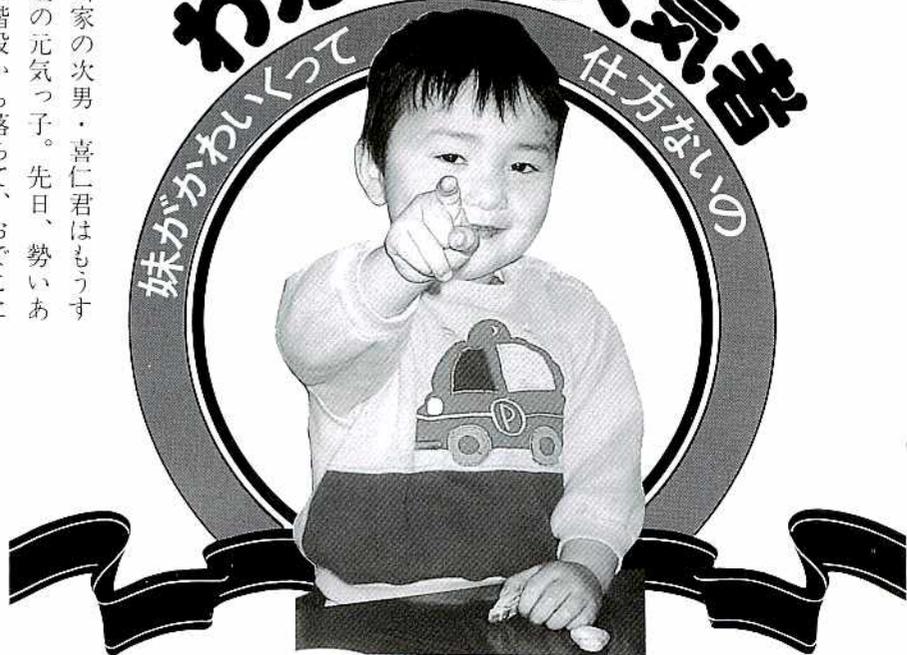


祝宴では素晴らしい踊りも披露されました

来賓として出席した根室支庁の中家部長や、米沢町助役、徳田議長、農協・山本副組合長らが「荣誉ある受賞に喜びでいっぱいです。お互い力を合わせて活動して来た事が、消費者と農業者の心のこもったコミュニケーション作りへと発展していることは素晴らしい。これからも後継者を作り、生きいきとバイタリティーあふれる活躍を期待します」と祝辞が述べられました。また、組合の育ての親でもある松岡前普及所長も、北見から駆けつけ受賞を祝いました。続いて祝宴に入り、組合のお母さんたちによる大正琴の演奏や歌、踊りなどが披露され、たくさん拍手を浴びていました。

わが家の人気者

仕方がないの
妹がかわいくなって



北光地区 房川喜洋・栄さんご夫妻
次男 ^{よしのと}喜仁君(2歳)

房川家の次男・喜仁君はもうすぐ三歳の元気っ子。先日、勢いあまって階段から落ちて、おでこに大きなたんこぶを作ってしまったながらもさすが男の子、本人は元気一杯。妹のみさちゃん(二歳)とは一つしか歳が離れていませんが、妹をいつも気づかい、とても優しいお兄ちゃんの喜仁君。

大スキなチョコレートも一人占めなんて事は絶対なく、いつもみさちゃんと半分づつ。とにかく妹が可愛いくなって仕方がない。可愛いさあまってちよっかいを出し、ケンカもしばしば。妹のために負けてあげちゃう兄の優しさか、はたまた妹のみさちゃんの方が強い

のか、軍配はみさちゃんに上がる方が多いとか。

喜仁君の弱点は音。ある時、お父さんがスノーモビルに乗せようとしたところ、その音に驚き、乗る前から泣き出してしまったとか。

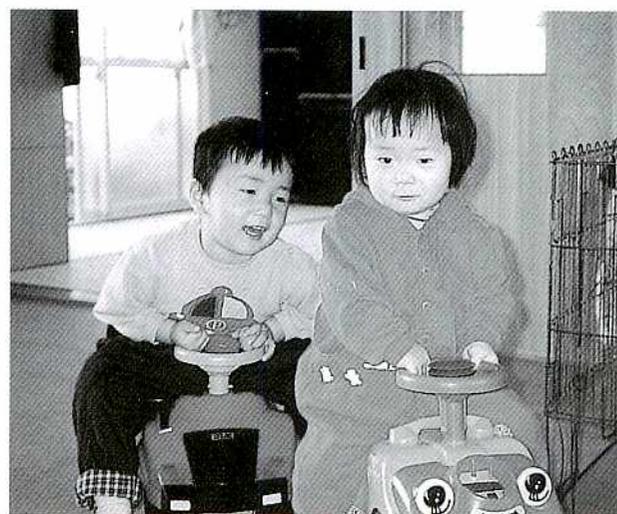
また、カミナリにも弱いそうで「言う事をきかない時は、はたいたりするよりも、カミナリが鳴ると言う方がききめがあるのよ。」



チョコレートの次はお肉が大好き

最近は何れも少しづつきかなくなつてきちゃったけどね」と笑って話すお母さんの栄さん。

最近はお母さんのお手伝いをするお兄ちゃんのお裕雅君



それぞれの愛車に乗った二人は上機嫌

(九歳)を見習つてか、茶碗ふきやおしめのしわ伸ばしなど、自主的にお手伝いするようになりました。そんな喜仁君や、いたずら盛りのみさちゃん小学校に通う裕雅君に「悪い事をした時はやつぱり怒るよ」と言いながらも、目を細めるおばあちゃん。今年から保育所に通いはじめる喜仁君。お友達たくさんでいいね。

中標津町農協熟年会冬期研修が二月九日～十一日、弟子屈町ホテルニュー子宝で開催されました。熟年会では春、秋、冬と年三回の旅行を中心とした研修を開催していますが、例年特に冬期研修会には参加者が多く、今回は百四十三人の会員が参加しました。



よし、第1ゲートは必ず通過するぞ!

いつまでも健康で 楽しい毎日を!

芸能発表、ゲートボールに歓声

熟年会冬期研修会



何事も協力が大事ですよ

相手が女性ならネ

う、みんなで頑張りましょう」と挨拶された。続いて中標津保健センターの渡辺嘉子講師による「高脂血症」をテーマにした健康管理研修会が行なわれ、映画での説明や、ボケないための頭の体操、ゲームなど参加者全員真剣に取り組んでいました。

翌日には各地区混成によるゲートボール大会が行なわれ、九チーム六十人が広いコートでボールを追い、仲びのび楽しくゲームを楽しみました

た。芸能発表は、土井上副会長の名司会で進められ、各支部から素晴らしい踊りや民謡、歌などが披露飛び入りも加わり夜の時間を忘れるほど盛況となりました。

また、研修会の中では、春に計画している大阪、京都、奈良方面の春期研修説明会や、佐野営農部長からの農協の運営状態や牛肉の自由化による影響、全道、管内での牛乳生産状況などが説明されました。



各部屋ではこんな遊びも(さて当たりは誰でしょう?)

同志の絆をより強く

平成四年度中標津乳牛改良同志会、第二十二回定期総会が二月一日、農協大会議室を会場に会員五十人の出席で開催されました。

総会に先だち、平成四年度高能力牛、各共進会上位入賞牛、E X獲得牛などの表彰が行なわれました。昨年の定期総会に於いて表彰基準改正後の表彰であったが、総体的な頭数は半数に減少したものの、中でも千ポンドが大巾に増え、現状の酪農環境に適応した、能力の向上と改良の成果が顕著に表われていると思います。

二十六人（対象頭数九十頭）の



今後も改良に向け頑張ってくださいと表彰が行なわれた

第22回中標津乳牛改良同志会総会



21世紀に向かい会員相互の絆をどういさつする弾正原副会長

方が表彰され、新たな気持ちで改良への挑戦の糧として表彰を受け取っていました。

総会は議長に広瀬清寿氏を選出し、提出議案の審議が行なわれ、平成四年度事業、決算報告がそれ

中標津乳牛改良同志会第22回総会

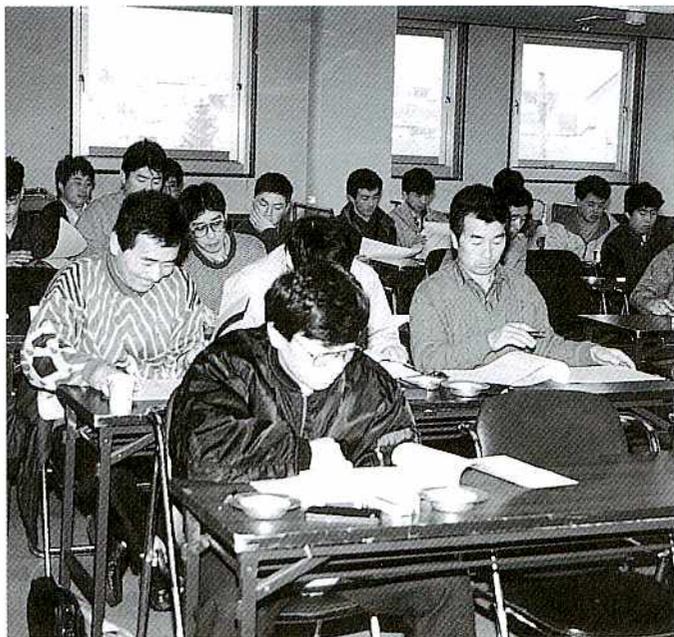
時代に即応できる事業を展開

それぞれ可決、平成五年度事業計画、予算案について論議が続きました。会員相互の信頼と事業の活性化

した。

平成五年度主な事業は次の通り承認されましたので、会員の参加協力と関係機関のご指導をお願い致します。

- 一、乳牛審査講習会の開催
- 一、中標津B&Wシヨウの開催
- 一、婦人研修会、講習会の開催
- 一、府県乳牛消流地視察研修
- 一、高能力牛の表彰
- 一、反省会の開催



会場では活発な論議がなされました

穏やかな好天に恵まれた二月十三、十四日、第十八回なかしへつ冬まつりが丸山公園多目的広場で開催されました。



今年はホットミルク、コーヒー牛乳が飛ぶように売れた青年部テント

会場では町内のファミリーや企業などが作成した大小さまざまな雪像三十基が並び、祭りに花をそえ、雪合戦、人間カーリング、太鼓演奏、スノーアイスホッケー大会、スノーモビル試乗会などのアイデアを凝らした

大盛況

スノーフエスティバル

味も抜群、超奉仕価格で提供とあって、両部とも閉店予定の午後三時前にはほぼ全商品売り切れとなる盛況ぶりでした。

青年部、婦人部も消費拡大に一役

チーズオンポテト、ホットミルク、コーヒー牛乳を、婦人部はいもだんごのフリッター、ザンギ、ミルクココア、甘酒などのメニューを販売。

イベントが練り広げられた。出店部門では十五店が開かれ、その中で農協青年部、婦人部も農畜産物乳製品消費拡大の目的で参加し、青年部では牛肉くし焼き、牛味付けカルビー、また、農協職員組合も雪像部門で冬まつりに参加、地域に根



婦人部も朝早くから消費拡大PRに一歩けんめい



雪像作りは毎晩遅くまで頑張りました

みんなので応募 しましように 農作業安全標語

春の農繁期を迎えるにあたり、農作業安全に対する意識啓発をはかるとともに、今後の事故防止対策に役だてるため、北海道農作業安全運動推進本部では「農作業安全標語」を募集しております。応募希望の方は要領参考のうえ応募して下さい。

要領

○募集期間

平成五年三月一日～三月三十一日

○応募資格

北海道内の農業者(十八歳以上)及び関係機関団体会社などの役員

○応募方法

作品は一人三点までとし、官製はがきによる。

(1)氏名(男女別、年齢を併記)

趣向を凝らした競技に声援



私のストーン、ゴールに止まっておくれ!

地域
みんなで
冬の運動会

地域と学校が一体となった、開陽冬の運動会が二月六日、開陽小中学校スケートリンクで開催されました。

当日は素晴らしい好天に恵まれ、アイデア凝らした競技に
たちの長い列をつくった。
また、つけもの石を利用した地区対抗カーリングでは、参加者みんなが真剣な顔でストーンを追いつつ、周囲の見物者からは声援がとんでいた。

小中学生や父兄、おじいちゃん、おばあちゃんたちも楽しく参加し、歓声があがった。

中でもスケートリンク池を中心に作られたリージュコースでは、スピードとスリル満点で、子供



おじいちゃん、おばあちゃん頑張ってる



スリル満点のリージュコース

(2)住所(郵便番号、電話番号併記)

○応募先

北海道農作業安全運動推進本部

住所 〒0600

札幌市中央区北五条西六

丁目 札通ビル八階

☎ 011-232-84

07番

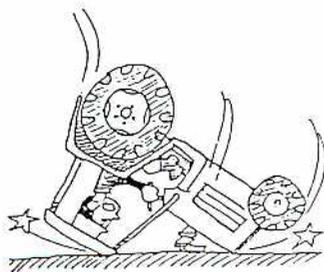
○応募期限

平成五年三月三十一日(当日消

印有効)

○作品の選考

別途選出する委員により選考委員会を開催し、一次選考を経た作品の中から最優秀賞一点、優秀賞二点、優良賞三点を決定する。



地域で楽しむ 冬まつり

丸太押しずもうに歓声!



ちよとハードな雪中サッカーでも心地良い汗を流しました

第三回中標津地区冬まつりが二月十一日協和・林牧場特設会場で開催されました。当日は好天に恵まれ二月上旬とは思えないほど暖かく、会場には地域や町内から沢山の家族連れ約百五十人が集まった。会場では焼肉、おにぎり、ラー

メン、甘酒、ワンカップ、ビールなどが用意され、また、十五台のスノーモビル、五台の四輪バイクによる試乗会も行なわれた。イベントでは雪合戦、雪上サッカー、雪上カルタ、丸太押しすもろなどが行なわれ、特に小高い雪の土俵で行なわれた丸太押しすもろでは滑ったり、転んだり、落っこちたりと、対戦者のおもしろい姿勢に見物人の笑いを誘っていた。また子供たちに人気の集まったのは四輪バイクで、雪道、坂道など、どこでも走れるのが楽しいのか、この日用意された特設コースで、エンジン音も高らかに最後までバイクを走らせていた。

シゲリアは、
四輪バイク
に熱中



共計でん粉

1月末販売
情報

平成四年産共計でん粉の販売状況は、一月末仮配分累計一袋当り千四十三円（前年同期千十五円）単価による進捗率は一〇・七％と順調に販売されています。

また、価格は産地倉渡し三千百円～三千三百二十五円（前年同期三千二百五十円～三千二百二十五円）と若干高値で取引されています。

なお、馬鈴しよでん粉と競合するコーンスターチは、千九百五十円（前年同期千九百五十円）となっております。

1日5時間の搾乳時間を目標に

手料理昼食に招いて農協婦人部員と理事者との懇談会

今年度の婦人部員と理事者との懇談会は、婦人部の手料理昼食会へ招いての趣向を凝らした懇談会となりました。

午前中は、須田生活改良普及員を講師に、山菜おこわ、長芋の梅かつお、サケのホイル蒸し、はんぺん汁、桜もちの五品目を皆で楽しく調理し、なかしべつフーズの



豪華メニューでの昼食、思わず理事さんの顔もほころぶ

ロツケも並び、食卓は大変豪華なものとなりました。お味の方も婦人が腕によりをかけて作ったかいあって、理事者にも満足していただけたほど大変おいしく出来上がりました。

昼食後は「変わりゆく農業と婦人の役割」をテーマに懇談会がすすめられました。「朝、晩の仕事は五時間でおえることができるを目標に、経営改善を行なうこと」によって農業のイメージアップを図れるのではないかと、女性も組合員になり、積極的に農協に参加してはどうかなど、なごやかに懇談会が行なわれました。今後の婦人部活動への助言については、大きすぎるテーマもあつてか具体的にいただけませんでした。この事については、時代にそつた活動を部員達で知恵を出し合い、展開していきたいと思ひます。

青年部、農協理事者との懇談会が二月二日〜五日中標津、開陽、保落を皮切りに各支部ごとに開催されました。

農協青年部 理事者との 懇談会

今年「新たな農業経営とは」を統一テーマに設け、サブテーマは支部での設定とし行なわれました。

内容的には、ちようどの時期生乳生産調整下において、各支部ともこの考え方、今後の生乳生産動向の話に時間を費やした様です。

その他については、新農政法や農協振興計画、協同経営、法人化によるコスト低減の考え方など、さまざまな意見交換が行なわれました。

「新たな農業経営とは」をテーマに



依橋支部での懇談会、真剣な意見交換が行なわれました

した。

今回話された内容については、集約を行ない自分たちの経営、農協運営に反映して行く予定です。

生乳生産状況 平成4年度2月 生乳受託実績表速報

ホクレン中標津支所

農協名	年間目標数量	月 計		累 計		進捗率	残 量	残量対比
		乳 量	前年比	乳 量	前年比			
標津町	66,451,000.0	4,761,850.0	110.8	62,177,310.0	109.4	93.6	4,273,690	87.8
中標津町	86,671,000.0	6,398,710.0	108.5	80,461,108.0	109.4	92.8	6,209,892	94.1
計根別	75,526,000.0	5,416,274.0	101.9	70,661,315.0	108.0	93.6	4,864,685	80.9
西春別	87,940,000.0	5,957,584.0	107.4	82,206,023.0	108.4	93.5	5,733,977	90.7
上春別	47,239,000.0	3,550,047.0	109.3	43,970,190.0	108.2	93.1	3,268,810	87.4
別海	144,659,000.0	10,687,180.0	109.2	135,220,436.0	107.3	93.5	9,438,564	86.4
中春別	91,589,000.0	6,850,550.0	107.1	85,908,340.0	105.5	93.8	5,680,660	80.0
根室	47,891,000.0	3,394,748.0	105.3	44,097,106.0	105.6	92.1	3,793,894	108.3
羅白町	3,300,000.0	197,540.0	112.5	3,059,970.0	107.7	92.7	240,030	112.8
合 計	651,266,000.0	47,214,483.0	107.6	607,761,798.0	107.7	93.3	43,504,202	88.3

2. 平成4年度生乳受託速報(閏修正)

単位：トン 3月2日現在

3. 計画生産達成状況

支 所	2月 下旬	閏修正 前年比	2月 月 計	閏修正 前年比	累 計	
					前年比	前年比
函 館	2,207	98.9	7,700	98.7	94,001	100.8
俱知安	800	97.4	2,792	97.0	33,842	99.3
苫小牧	2,470	99.5	8,625	99.5	101,738	102.8
札 幌	574	95.4	1,999	95.5	23,961	97.2
岩見沢	769	102.1	2,677	101.8	31,142	101.5
留 萌	2,484	106.9	8,720	107.5	112,704	105.6
旭 川	3,679	105.1	12,828	104.7	154,474	103.5
稚 内	5,599	106.6	19,698	107.0	256,003	106.6
帯 広	17,980	105.2	62,761	105.2	732,519	107.3
北 見	11,043	103.0	38,608	103.1	465,974	104.6
釧 路	10,232	107.5	35,902	108.0	439,220	106.9
中標津	13,438	107.2	47,214	107.6	607,762	107.4
合 計	71,275	105.1	249,524	105.3	3,053,340	105.9

支 所	目標数量	前年比	2月 残 量	下旬時
				計画対比
函 館	103,096	101.1	9,095	103.7
俱知安	37,288	100.0	3,446	107.6
苫小牧	112,000	103.3	10,252	105.3
札 幌	26,268	97.5	2,307	101.6
岩見沢	34,300	101.9	3,158	105.6
留 萌	122,785	105.9	10,081	108.6
旭 川	170,676	104.7	16,202	118.7
稚 内	277,990	106.5	21,987	105.2
帯 広	803,925	107.3	71,406	107.0
北 見	510,464	104.7	44,490	105.4
釧 路	479,475	107.1	40,255	108.8
中標津	660,055	107.3	52,293	106.1
合 計	3,338,322	106.0	284,982	107.1



情報化時代と言われる現在、農協にも数々の大型電算機、ファクシミリシステム、パソコンなどが導入され、ワークステーション化



へと移行しつつある。この様な中で、職員みんながパソコンを使えるようになり、計算業務のスピード化や文章の管理など、日常業務の効率化を計ろうとパソコン勉強会が始まった。講師には管理電算課の西村、今野氏が担当している。第一部としては昨年「ワープロ一太郎」の講習会を四回実施、第二部では「LOTUSワン・ツー・スリー」の第一回目講習会を二月十九日実施している。

講習会は業務終了後の午後六時から七時の一時間ほどで、パソコンを前に自分で操作しながらの講習、内容も初歩的な事から実務編までと段階にそって行なわれ、参加職員約三十人は真剣に取り組んでいる。



理事会

の経過

第十五回理事会

開催月日 二月十五日
開催場所 農協中会議室

一、平成四年度公社営畜産基地建設事業に係る基盤整備資金の借入について。

- 二、外部出資について。
- 三、共済規程の一部変更について。
- 四、なかしべつフーズ(株)工場増設に係る借入金の連帯債務者及び連帯保証人について。
- 五、組合員の脱退予告及び譲渡などについて。
- 六、定例自治監査の報告について。
- 七、北海道農業協同組合中央会監査報告書の回答について。
- 八、平成四年度組勘精算残の貸付について。
- 九、平成五年度クミカン供給認定

〈報告事項〉

一、生乳生産状況と酪農情勢につ

5年度から基金スタート バレイシヨでん粉生産安定対策事業

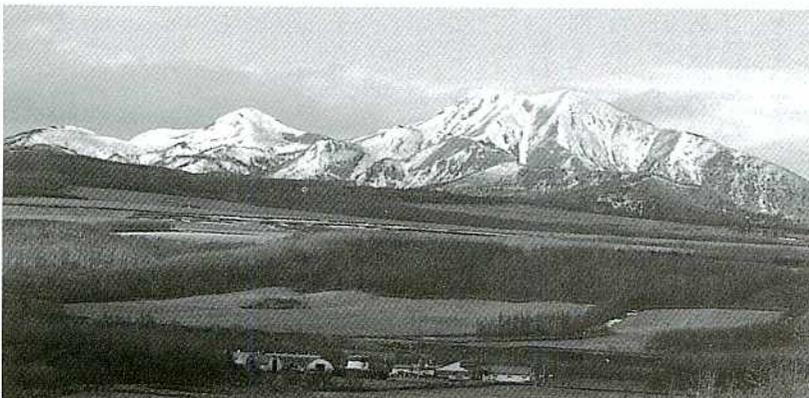
平成四年九月に、でん粉に関する日米協議が合意をみ、むこう三カ年、最低輸入枠と二次税率を現行どおりとするなど、最低限の譲歩によって再延長されました。

でん粉の需要は、最終的には総需要量が横ばいの中で抱き合わせ比率が拡大されること、製品輸入やでん粉誘導体の増加、東南アジアのタピオカでん粉をはじめとする諸外国からの自由化攻勢の一層

の強まりなど、需要の確保やI・Q、抱き合わせ制度の維持は依然として予断を許さぬ状況におかれていますが、他方でカンシヨでん粉の生産減少で、抱き合わせ制度の運用にも支障をきたすなど、バレイシヨでん粉の計画生産量(二十六万トン)の達成が強く要望されている状況にあります。

馬鈴しよの生産量の半分を占める馬鈴しよでん粉が、豊凶による供給バランスの崩れから、過剰分の調整保管及び特別販売時に、農家手取り価格の一部補填を行なうことを目的とした、北海道馬鈴しよ生産安定基金積立が、総額三十億円、五カ年間で実施されます。基金の出資は、JA(生産者)で十五億円、北海道、連合会、商系で十五億円、中標津町農協三千七百三十万円(五カ年)の基金積立となります。

- 二、平成四年十二月末の事業概況について。
- 三、根釧合同農協役員研修会開催について。
- 四、人事について。
- 五、根室管内の農協組織整備について。



暮らしの

知恵袋



北根室地区農業改良普及所

●「家族」とは

都会から酪農体験にきた若い女性達の感想文の中で、こんな声がありました。「酪農ならば、一緒に起きて、働いて三世代全員集まってるの食事。あたり前のことに思えるけれど、あたたかい時間を過ごせるというのは、困らんを持ってない家族からみると、贅沢で羨ましい限りですね」と。

今、都会では、家族のすれ違いの生活のために、家族団らんの間が少ない家庭が多くなってきました。そんな生活の中から出た声なのでしょう。

また、北海道の若者を対象にし



た調査で「人生にとって最も大切なものは」との問いに、第一位に「挙げられたのは「人間関係」第二位が「家族」第三位が「健康」でした。ここでも「家族重視」が強調されています。

心身共に健康で豊かに生活して

いくためには、「家族」の理解と協力はなくてはならないものだと思います。そして、これらを得るためには、家族の中での会話、コミュニケーションが大切になってきます。

●子どもはもつと話したがっている

小学校高学年から中学生といえば、なにかと難しい年ごろです。その年代の子どもは、親とどのくらい話し合っているのでしょうか。

総理府で行なった調査では、父親と話す方だという子どもは六八%。母親と話す方だという子どもは九一%となっており、母親と話す割合が圧倒的に高くなっています。しかし、それでも学年が上がるにつれて、親と「非常によく話す」と答える子ども割合が減少していています。

また、母親との話し合いの度合いの低い子どものあげた理由は、「話す話題がない」「お母さんが忙しい」が高くなっています。これも学年が上がるにしたがって「話す話題がない」という理由が多くなります。

また、父親に対しても同じ傾向がみられます。

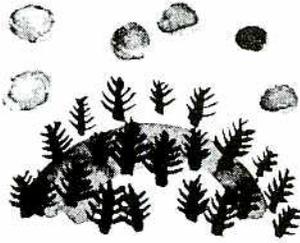
小学校高学年から中学生にかけてこの時期は、子どもの親離れ、精神的な自立、自己確立の過渡期でもあり、親も子どもへの対応にいちばん悩む時期でしょう。しかし、それだからこそ、「家族」のきづながより大切になってくると思います。毎日の暮らしの中で、子どもとの心と体とのふれあいをどのようにして深めていったらよいか、我が家にとって一番よい方法を、身近なところから考え合っていきたいものです。

農村女性作文コンクール児童の部で、最優秀賞をとった長沼町の六年生黒田さんの作文にこう書かれています。「本当に21世紀の農業に必要なものは、機械ではなく「家族」が生み出す「ゆとり」だと思います。あたりまえのことですが、私も家事はもちろんのことですが、農作業も手伝い、お母さんの体も心にもゆとりを作ってあげたいと思います。」

あたりまえだと思われている「家族」のあり方について、もう一度考えてみる必要があるかもしれません。

3ヶ月予報

日本気象協会北海道支部



北海道地方長期予報

気象概況

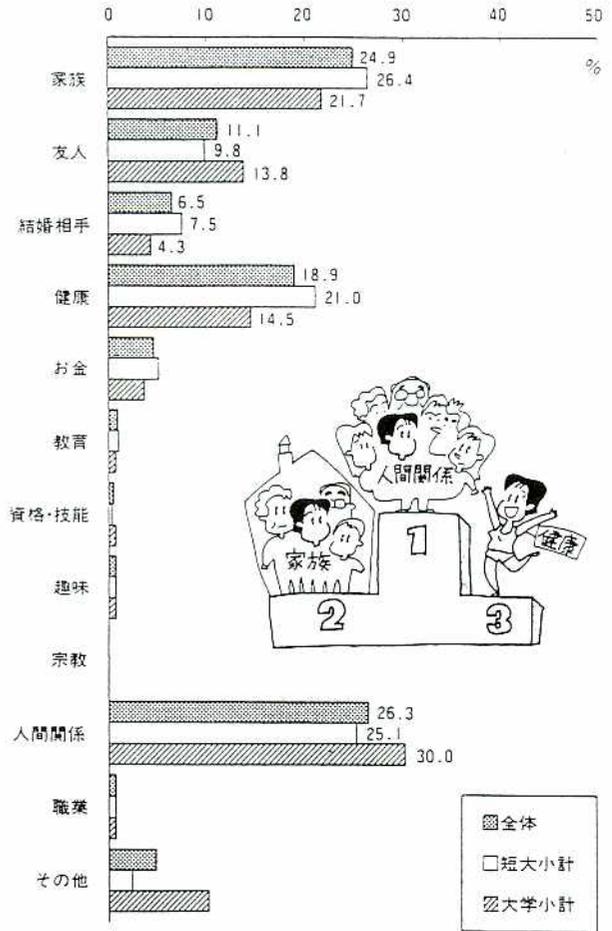
三月 天気は周期的に変わりますが、一時寒気が入るでしょう。この期間の降水量は平年並みの見込みです。

四月 天気は周期的に変わりますが、移動性高気圧に覆われ暖かい日が多いでしょう。気温は高い、降水量は平年並。

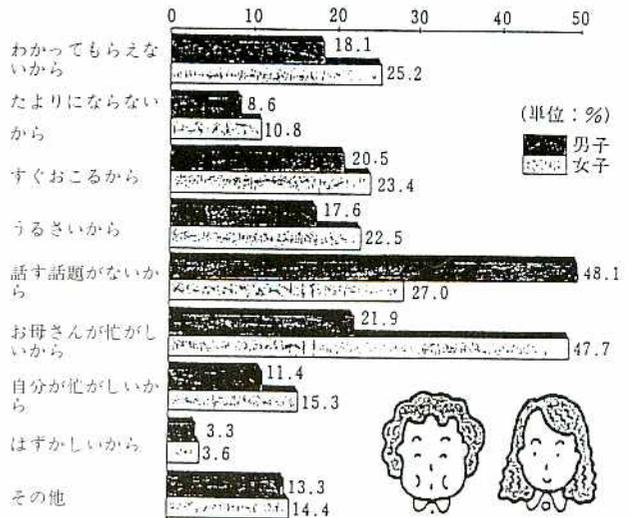
五月 天気は周期的に変わりますが、一時寒気が入っておそ霜の恐れがあります。気温は平年並、降水量は平年並。



人生にとって最も大切なもの



母親と話し合わない理由(男女別)



資料：総務庁青少年対策本部「少年の生活意識と実態に関する世論調査」(1988)



今日は一日楽しかったよと参加者全員で

白銀にフィアンセを求めて

青年部独身者交流推進委員会企画による交流スキーツアーが2月7日、斜里町海別スキー場で開催されました。

参加者は32人(男性16人、女性16人)と男女同数でペアーを組むには絶好のチャンス。

ゲレンデもまざまずの状態、参加した男女はそれぞれリフトに乗り白銀の世界へと散って行った。



ウエイブスタイルもなかなか泳まのびのび

フ オ ト ア ル ズ ム



趣向を凝らしたソリが勢揃い

自作ソリに 歓声!

開陽台自作ソリ大会

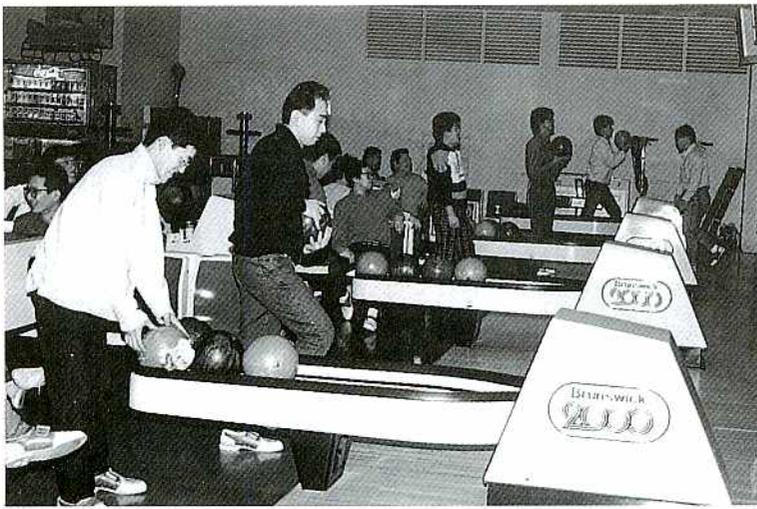
第5回開陽台自作ソリ大会が2月21日、開陽台育成牧場内特設会場で開催され、18台の自作ソリがスピード部門、パフォーマンス部門に挑戦した。

この日は朝から青空が広がり早春を思わせる陽気の中、町内外からたくさん見物客が詰めかけ、転倒したり、ジャンプした途端に壊れてしまう自作ソリに笑いを誘っていた。

また競技後には、一般参加による宝さがしやチューブすべり、スノーモビル試乗会なども行なわれました。



貴、りえソリも途中で別かれてしまいました



ボウリングで 交流会

アレ〜
ストライクに
なると思った
のにナ〜

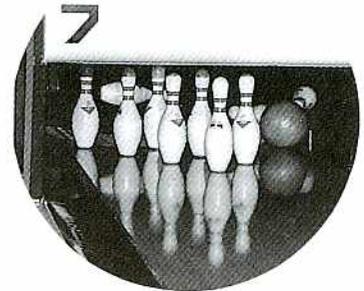


青年部レクリエーション委員会企画によるボウリング大会が、2月19日中標津町ウコウボウルで開催されました。

各支部間部員の親睦と交流を目的に行なわれ、当日は26人が参加、ストライク、ハイスコアーをめざしての3ゲームが行なわれ、楽しい交流会となりました。

結果は次の通りです。

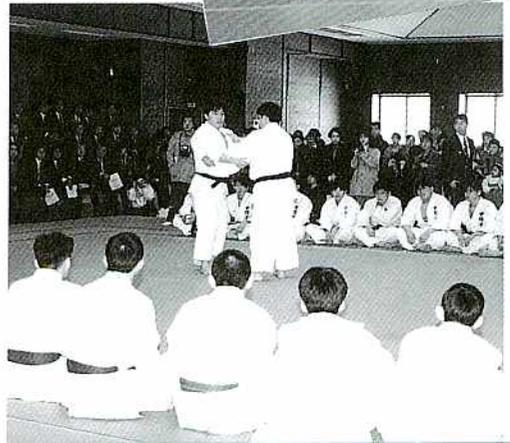
- 1位 赤堀 将仁 (520点)
- 2位 佐藤 敏 (501点)
- 3位 山下 真二 (479点)



中標津武道館がオープン 金メダリストの技に歓声

中標津町の武道館が完成し、オープン記念式典が2月21日同館で行なわれました。

開会式では新出町長を始めとする関係者がテープカット、続いてバルセロナ五輪柔道金メダリスト古賀稔彦氏の模範演技が行なわれ、オリンピック出場試合でのきめ技と説明を加えながら実演された。巴投げ、1本背負いや背負い投げなどの切れの良い、素晴らしい演技に会場に詰めかけた武道愛好家やスポーツ少年団、N高柔道部員らから沢山の拍手が送られていました。



2月の 組合日誌

- 1日 乳牛改良同志会第22回定期総会
- 2日 熟年会役員会
- 4日 地域農業振興計画酪農部会
- 5日 小集団事務局会議
- 9日 営農委員会
- 10日 酪農委員会
- 10日 馬鈴しょ振興会役員会
- 12日 中標津町農協課税対策委員会
- 14日 農水省畑作振興課長補佐との懇談会
- 15日 第15回理事会
- 17日 乳用雄仔牛哺育育成組合総会
- 18日 てん菜振興会第2回役員会
- 19日 婦人部和紙工芸教室
- 19日 地域農業振興計画策定委員会
- 22日 なかしべつフーズ取締役会
- 23日 役員報酬審議会
- 25日 農協酪対役員会
- 26日 管理購買委員会

ボウリングで**家族親睦**

● 青年部畑作部会

青年部畑作部会では、部員、家族の親睦と冬期間の運動不足解消の目的で、交流ボウリング大会を2月4日、ウコウボウルで開催しました。

冬場身体を動かす事が少ないせい、3ゲームを投げると額に汗を流す人も多く、また奥さんたちは普段のストレス解消(?)もあってか、力いっぱいボールをピンに向け投げ込んでいた。大会結果は次の通りです。

男子1位	福嶋 剛	522点
2位	田中 世一	415点
3位	武田 健治	405点
女子1位	武田登志子	361点
2位	福嶋真利子	339点
3位	高橋矢末子	304点



編集後記

早いものでもう三月、月日の経つのがあっという間に感じます。

今年の冬は吹雪も少なく、暖かく大変過ごしやすかった様に思いますが、でもまだ油断は禁物です。これからドカ雪が降る可能性もありますのでご注意ください!!

今月号は、各地域で趣向を凝らして行なわれた冬のイベントを中心に掲載致しました。この中で私にとつてうれしい事が一つ、それは写真と開催された内容を頂き、農協なかしべつに載せて下さいと依頼があった事。内容を読んでみると地域みんなで作る冬の運動会で、楽しかった様子が内容と写真からうかがえました。編集担当としては大変うれしく感謝申し上げます。

平成四年度も今月で終わりです。新しい年度に向け、皆さまに楽しく読んで頂ける広報紙作りを心掛け、努力してまいりますので皆様からのご意見、掲載希望、催しなど何でもけっこうですからお寄せ下さい。